

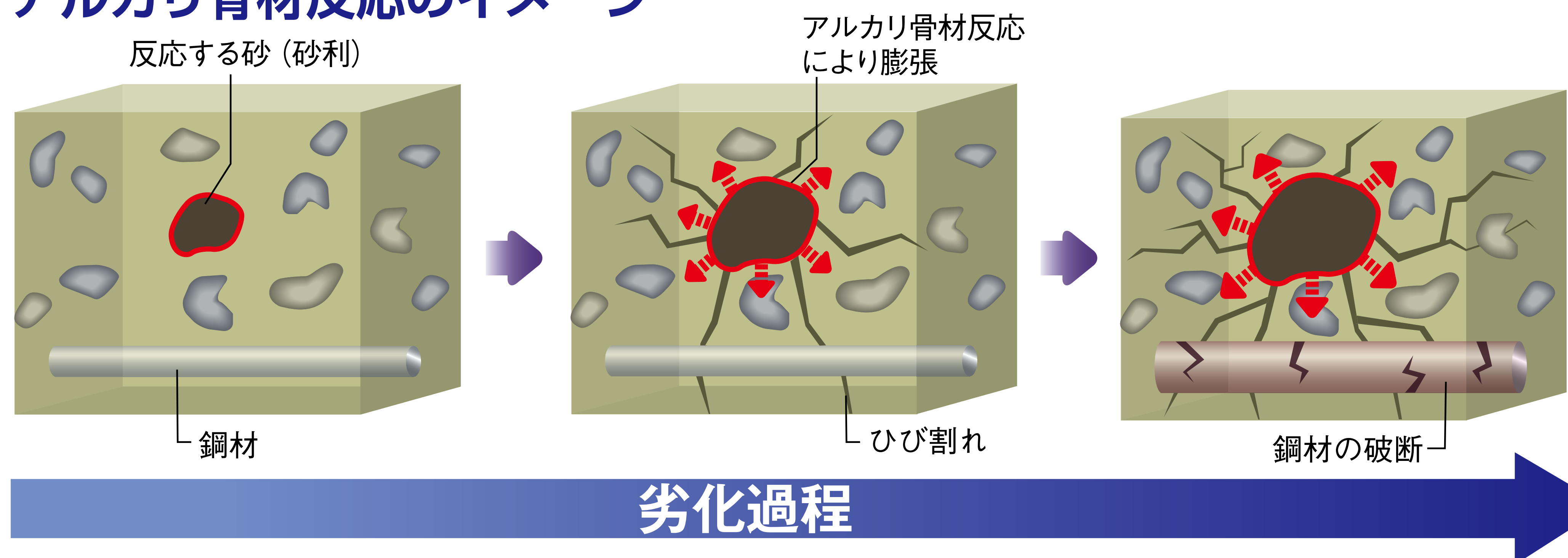
化学反応で コンクリートが劣化

橋の材料の一つであるコンクリートは強アルカリ性です。しかし、コンクリートに使われる砂や砂利の中には、このアルカリ性と反応して、膨張するものがあります。この化学反応をアルカリ骨材反応といいます。

この化学反応をおこしたコンクリートでは、表面に網目状の亀裂が生じ、そこから白い物質がしみ出してくる現象が見られます。

また、コンクリートの亀裂により内部の鋼材が破断してしまうケースも確認されています。

アルカリ骨材反応のイメージ



アルカリ骨材反応によりひび割れが発生

